

「大きな古時計」とはどんな時計？

「リリオだより」142号（6月27日発行）で書きましたように「大きな古時計」のモデルになった古時計は今も実在しています。

イギリス北東部ダラム州のアスプリッジという小さな町に「ジョージ・ホテル」という民宿があります。その時計はその玄関のロビーに置かれています。（下の写真）

アメリカの作曲家ヘンリー・クレイ・ワークが、その時計にまつわる言い伝えを聞いて作詞・作曲したのが1876年ですが、その時、既に「古時計」と歌っているのですから、この時計が作られたのは、18世紀後半から19世紀初頭と考えられます。

アンティーク時計マニアを自任する私には、それがどんな時計なのかとても興味があります。

大きな振り子時計であることは、その歌詞からもわかります。1番の歌詞を直訳すると次のようになっています。

♪おじいさんの時計は

棚に置くには大きすぎ 90年間床の上

高さはおじいさんの1.5倍

でも重さはおじいさんとほぼ一緒

おじいさんが生まれた日の朝に買われて

それからずっとおじいさんのご自慢の宝物

つまり床に据え置き型で、高さが250cmぐらい、重さが60kgぐらいで、写真でも分かるようにとても立派な時計です。



ジョージ・ホテルに現存する「大きな古時計」のモデルになった時計

「おじいさんの生まれた朝に買ってきた」と簡単にいうけれど、19世紀初頭まで、時計は時計職人による手作りだったのでとても高価でした。

家1軒分もする高価な時計を、ひょいとそこらの時計屋で買ってきた、というところが面白いですね。

豪華な飾りの付いた振り子時計は、お金持ちの象徴でした。

おじいさんの生まれたお家はとても大金持ちだったようです。

中産階級が買えるぐらいまで価格が下がるのは20世紀になってからのことだそうです。

ではその時計はどんな時計だったか、詳しく検証して参りましょう。

振り子時計を発明したのは、クリスチアン・ホイヘンスというオランダの科学者でした。それは1656年のことですが、その後の100年間で振り子時計は驚異的な進歩を遂げます。

そして18世紀半ば、丁度このおじいさんの時計が作られた頃には、1週間の誤差が数秒という精度を実現していました。

1930年クォーツ時計が出現するまで、このタイプの振り子時計は最も精度の高い時計として標準時計になっていました。

精度の高い振り子時計を作るためには、振幅をできるだけ小さく、ゆっくり振らせる必要があります。

それは振り子に掛かる空気抵抗を小さくするためです。

すると必然的に振り子の長さは長くなるので、時計の背丈も高くなります。

人の背丈より高いノッポ時計になったのは、精度を高めるためです。

歌のモデルになった古時計も、おそらく現在の時計に匹敵する精度の時計だったと考えられます。

このノッポ型の時計は「Long case Clock」（長箱時計）とか「Coffin Clock」（棺桶時計）などと呼ばれていましたが、1876年にこの歌がアメリカで大ヒットして以来、一般に「Grandfather's clock」（おじいさんの時計）と呼ばれるようになりました。

「大きな古時計」のレッスンが始まってから、「Grandfather's clock」というものを見てみたくて気を付けていましたところ、見つけました。

7月4日だったと思います。北出音楽事務所で練習したことがあります、その1階に本物の「Grandfather's clock」が置いてありました。

丁度その日は「大きな古時計」の練習だったので、帰りにその時計をじっくり眺めてきました。

事務所の方の話では、ある会社が廃業するときに譲ってもらったそうですが、毎日ネジを巻かなければならないので今は使っていないそうです。

千林商店街の「理髪館」に置いてあるのは、偽物で実はクォーツ時計です。

次に私が注目するのは文字盤です。

前頁に写真の文字盤は、右の写真です。

ピントがあまいので分かりにくいですが、下の絵のようにローマ数字で書かれています。北出音楽事務所にあったものもローマ数字でした。

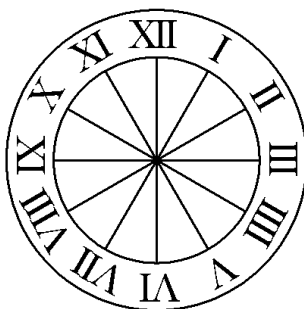
アラビア数字(123...)ではありません。

それがどうした？いわれそうですが、古時計マニアの私はそこに興味があります。

ヨーロッパの時計の公共時計では、少しの例外を除けばほとんどローマ数字が用いられ、アラビア数字が使われることはありません。

下の表は、公共時計の文字盤がローマ数字かアラビア数字かを調べたものです。

	ヨーロッパの公共時計	日本の公共時計
ローマ数字	127 (82.5%)	82 (27.7%)
アラビア数字	11 (7.1%)	152 (46.9%)
数字以外(点や線)	16 (10.4%)	180 (55.5%)



この表からわかるように、ヨーロッパの時計塔の82.5%がローマ数字です。例外的にアラビア数字を見かけるのは、鉄道の駅舎などに多いようです。ヨーロッパの時計は、なぜアラビア数字ではなく、ローマ数字なのか？

アラビア数字とは、もともとはインドが発祥地ですが、アラビアを通じて13世紀ごろヨーロッパに伝わりました。

「0」という数字があるために計算が容易にでき、算用数字として世界共通の優れた数字です。

しかしヨーロッパで時計の文字盤にアラビア数字を使わないのはなぜか？

アラブの国からきた数字だからイスラムの匂いがする。

だからキリスト教の国では使わないのだろう。またここにもキリスト教とイスラム教の確執かと私は考えていました。

でも、イスラム教の国トルコでも、時計にローマ数字が盛んに使われています。

するとイスラム確執説では説明が付きません。どうもローマ帝国の名残と考えられます。

ヨーロッパの文明は、古来より一貫してギリシャ・ローマを模倣しようと試みてきました。支配階級が学んだのは、ローマの標準語だったラテン語であり、当然ローマ数字がセットになっています。

従って、当時の支配者たちが街や教会に作り上げたクロックや懐中時計は、例外なくローマ数字になっている、というわけです。

それに対してアラビア数字は、会計で使われる庶民の数字です。重厚さはないが分かり易い。だからアメリカや日本の時計はアラビア数字が主流です。

「大きな古時計」に魅せられて気の向くままに詰まらない話を書いてしまいました。ごめんなさい。



スイス・ベルンの時計塔



ロンドンのビッグベン

亀岡弘志(記)